

連載第2回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに

皆さまが暮らしやすい街へ

風呂なし市営住宅の問題を考える

8月もお祭り 宅で、六浦、瀬戸橋、代金も1回470円とへの出席や市民 瀬ヶ崎住宅には風呂が 毎日入るとその料金も相談の対応へ、 ついていません。数十 ばかになりません。我慢して回数を抑えてい金沢区内各地を 精力的に回らせ りましたが銭湯の数が 減り、特に高齢の同居 者の皆様にとつて遠方 者の銭湯に通うことは体 力的にも大きな負担と なっています。特に暑 さい時期は、せつかく風 呂に入っても帰り道で また汗だくになってしま います。銭湯の 改善方法は、 A・市営住宅敷地内への簡易シャワー室の設置など、いくつか提案 をもって当局と話をし



横浜市議員 たけのうち猛

〈プロフィール〉

昭和49年、大分県大分市生まれ。創価大学法学部卒業。金沢区在住。平成27年4月、横浜市会議員に初当選。公明党公認。建築・都市整備・道路委員会。減災対策推進特別委員会。

〈ご相談・ご連絡先〉

公明党金沢支部事務所：金沢区富岡西3-38-1-101 TEL：080-9804-9782 FAX：045-345-4345 info@takenouchi-takeshi.com http://www.takenouchi-takeshi.com/

ましたが、様々な制約から実現が難しいとのこと。特に、瀬戸橋住宅は最寄りの銭湯も非常に遠いため、希望者へ「他の市営住宅への申込みを可とする」対応を実施。しかし応募者はわずか数世帯だったそうです。そのため「それほど深刻な問題ではないのでは」との見解を示す当局者もいましたが、そうではありません。新しい市営住宅に移ると家賃も上がり、なにより住み慣れた地域を離れることに、多くの方がためらいを感じているからだと思います。当局へ更に踏み込んだ対応をお願いしましたが、引き続き解決の方途を模索して参ります。